

令和7年度市民の実感指標 結果概要

本市では、平成28年3月に策定した「川崎市総合計画」における政策分野ごとに設定した「市民の実感指標」が、掲げた目標にどれだけ近づくことができたのかを確認するため、川崎市総合計画における施策評価（中間評価及び総括評価）にあわせて概ね2年ごとに実態を把握してきました。

今回、「令和7年度川崎市総合計画に関する市民アンケート調査」を令和8年1月に実施し、その結果をとりまとめました※。本結果は、令和8年度に実施する川崎市総合計画第3期実施計画の総括評価の審議に活用し、令和8年8月に公表予定の総括評価の結果と併せて、今後の市の取組改善につなげていきます。

※政策2-2の指標は、「令和7年度全国学力・学習状況調査」（令和7年4月実施）の結果を活用しています。

1 市民の実感指標とは

市民の実感指標は、総合計画に基づく取組等の結果が、市民満足度など主観的な実感の向上にどの程度寄与したのかを把握することを目的として、政策分野ごとに設定したものです。

目標値については、平成27年2月に実施した「新たな総合計画策定に向けた市民アンケート」の結果をもとに、川崎市民の意識・評価の水準（現状）を把握し、全政令指定都市の市民の意識・評価との比較を行うことで、基本計画の計画期間の終期となる概ね10年後（令和7年度）を想定して設定しました。

<「川崎市総合計画」と政策体系の関係>



<総合計画の計画期間>

	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
総合計画	川崎市 基本構想									
	30年程度を展望									
	川崎市 基本計画									
実施計画	平成28年度から概ね10年									
	第1期 実施計画		第2期 実施計画				第3期 実施計画			
	H28～H29		H30～R3				R4～R7			

今回調査
(目標年次)

2 調査の概要

<令和7年度川崎市総合計画に関する市民アンケート調査> 調査概要(政策2-2以外)

調 査 内 容	市民生活やまちづくりに関するいくつかのテーマについて、 川崎市民の生活意識や市政に対する意識等 を調査(設問項目:29項目)																														
回 答 肢	● 5段階評価方式 ①そう思う、②ある程度そう思う、③どちらともいえない、④あまりそう思わない、⑤そう思わない ● 2項目選択方式(有無) ※調査項目:政策2-3「生涯学習」及び政策5-1「地域活動」のみ ①はい、②いいえ																														
調 査 対 象	川崎市在住の満18歳以上の男女個人3,000人(住民基本台帳から無作為抽出)																														
調 査 方 法	郵送 によるアンケート調査(回答方法は、郵送回答とインターネット回答の併用)																														
調 査 期 間	令和8年1月8日(木)～1月29日(木)																														
回 収 状 況	発送数:3,000件(有効回収数:1,192件／有効回収率:39.7%)																														
標 本 誤 差	今回の調査における標本誤差は、有効回収数が1,192件であったため、誤差の範囲が最も大きくなる回答比率が50%前後であった場合でも、±4.1%以内(45.9～54.1%)となります。 ※ 標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なります。 標本誤差=±2√$2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}$ N=母集団数(川崎市の18歳以上人口) n=比率算出の基数(回答者数) p=回答の比率(%) 今回の調査結果の標本誤差は下記ようになります。 <table><tr><th>回答比率(P) 基数(n)</th><th>10%または 90%前後</th><th>20%または 80%前後</th><th>30%または 70%前後</th><th>40%または 60%前後</th><th>50%前後</th></tr><tr><td>1200</td><td>±2.45%</td><td>±3.27%</td><td>±3.74%</td><td>±4%</td><td>±4.08%</td></tr><tr><td>1192</td><td>±2.46%</td><td>±3.28%</td><td>±3.75%</td><td>±4.01%</td><td>±4.1%</td></tr><tr><td>1000</td><td>±2.68%</td><td>±3.58%</td><td>±4.1%</td><td>±4.38%</td><td>±4.47%</td></tr><tr><td>800</td><td>±3%</td><td>±4%</td><td>±4.58%</td><td>±4.9%</td><td>±5%</td></tr></table> ※上表は$\frac{N-n}{N-1} \div 1$として算出しています。なお、この表の計算式の信頼度は95%となります。	回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後	1200	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4%	±4.08%	1192	±2.46%	±3.28%	±3.75%	±4.01%	±4.1%	1000	±2.68%	±3.58%	±4.1%	±4.38%	±4.47%	800	±3%	±4%	±4.58%	±4.9%	±5%
回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後																										
1200	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4%	±4.08%																										
1192	±2.46%	±3.28%	±3.75%	±4.01%	±4.1%																										
1000	±2.68%	±3.58%	±4.1%	±4.38%	±4.47%																										
800	±3%	±4%	±4.58%	±4.9%	±5%																										

<令和7年度全国学力・学習状況調査ー川崎市の児童生徒の学習・生活の状況ー> 調査概要(政策2-2のみ)

調査の目的	全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
回答肢	●4段階評価方式 ※調査項目:政策2-2「教育(小)」及び政策2-2「教育(中)」 ①当てはまる、②どちらかといえば当てはまる、③どちらかといえば当てはまらない、④当てはまらない
調査対象	川崎市内小学校 第6学年 11,387名 中学校 第3学年 8,962名 ※調査の種類により調査人数は若干変動
調査実施日	令和7年4月17日(木)

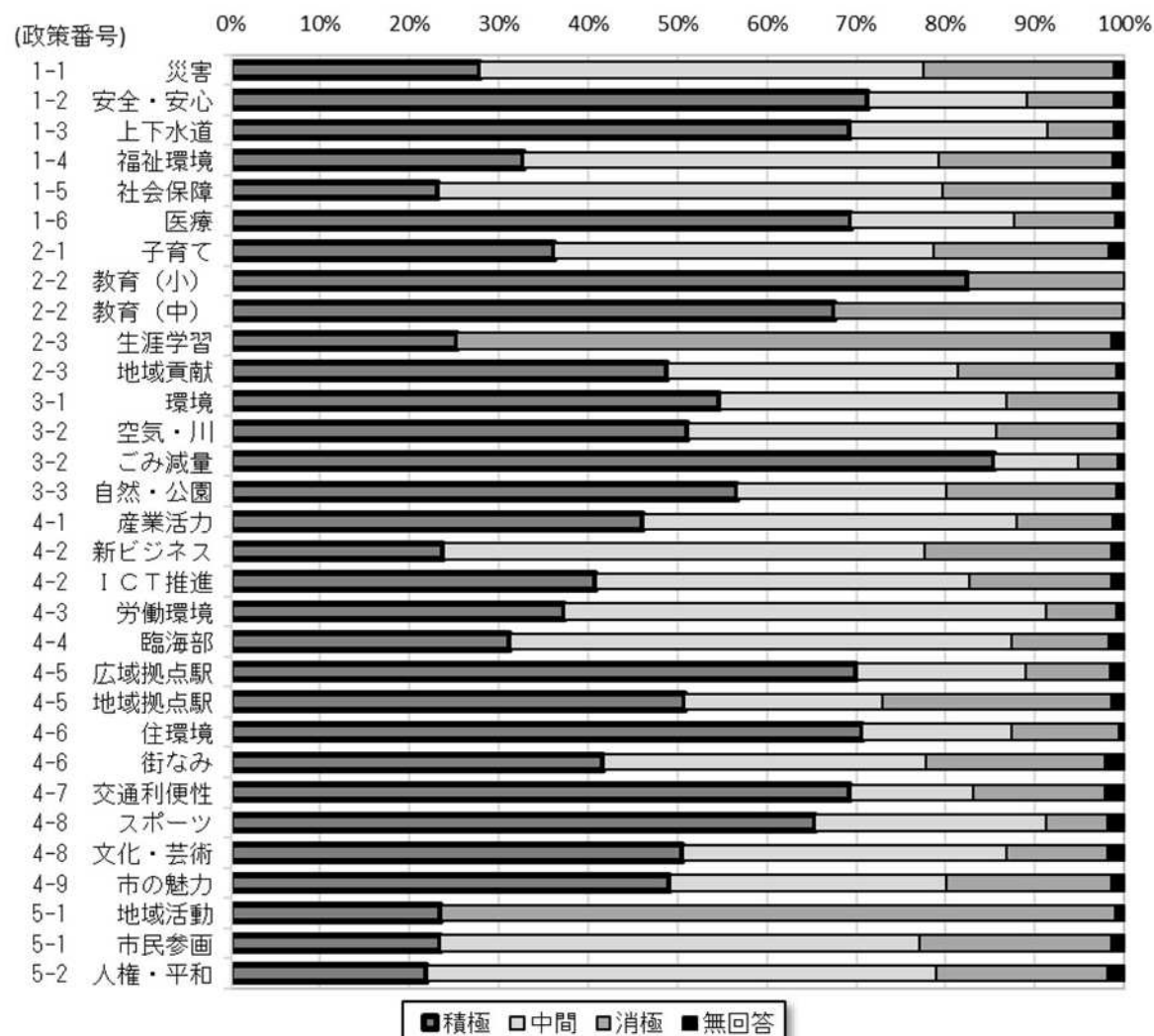
3 市民の実感指標 項目

政策番号	市民の実感指標の名称	略称
1-1	災害に強いまちづくりが進んでいると思う市民の割合	災害
1-2	安全・安心な日常生活を送っていると思う市民の割合	安全・安心
1-3	上下水道サービスについて満足している市民の割合	上下水道
1-4	高齢者や障害者が生き生きと生活できるような環境が整っていると思う市民の割合	福祉環境
1-5	社会保障制度に基づく市の取組が、病気、怪我、失業などによる市民の経済的な不安の軽減に役立っていると思う市民の割合	社会保障
1-6	安心して医療を受けることができていると感じている市民の割合	医療
2-1	子育て環境の整ったまちだと思う市民の割合	子育て
2-2	「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童の割合	教育(小)
2-2	「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した生徒の割合	教育(中)
2-3	「1年間に生涯学習をしたことがある」と回答した市民の割合	生涯学習
2-3	「自分の知識や技術を地域や社会に活かしたいと思う」と回答した市民の割合	地域貢献
3-1	地球温暖化の防止など、環境に配慮した生活を送っている市民の割合	環境
3-2	市内の空気や川などの水がきれいになったと思う市民の割合	空気・川
3-2	ごみの分別や資源のリサイクルなど、ごみを減らす取組を行っている市民の割合	ごみ減量
3-3	市内にある自然(緑地、河川など)や公園に満足している市民の割合	自然・公園
4-1	市内産業に活力があり、事業者が元気なまちだと思う市民の割合	産業活力
4-2	新しいビジネスの生まれているまちだと思う市民の割合	新ビジネス
4-2	行政サービスでインターネットやスマートフォンなどのICTの活用が進んでいると思う市民の割合	ICT推進
4-3	働きやすいまちだと思う市民の割合	労働環境
4-4	臨海部で経済活動が盛んであると思う市民の割合	臨海部
4-5	市内の広域拠点駅(川崎駅、武蔵小杉駅、新百合ヶ丘駅)の周辺に魅力や活気があると思う市民の割合	広域拠点駅
4-5	市内の地域生活拠点駅(新川崎・鹿島田駅、武蔵溝ノ口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅)の周辺に魅力や活気があると思う市民の割合	地域拠点駅
4-6	居住する地域の住環境(住みやすさ)に満足している市民の割合	住環境
4-6	市内に美しい街なみが保たれていると思う市民の割合	街なみ
4-7	交通利便性の高いまちだと思う市民の割合	交通利便性
4-8	スポーツの盛んなまちだと思う市民の割合	スポーツ
4-8	文化・芸術活動の盛んなまちだと思う市民の割合	文化・芸術
4-9	市に魅力や良いイメージがあると感じている人の割合	市の魅力
5-1	町内会や市民活動など、地域での活動に参加している市民の割合	地域活動
5-1	市政に対する市民の意見や要望を伝える機会や手段が整えられていると思う市民の割合	市民参画
5-2	市民一人ひとりの人権や平和に対する意識が高いと思う市民の割合	人権・平和

4 結果の傾向

市民の実感指標の結果について、回答肢※の（①そう思う、②ある程度そう思う）を**積極的回答**、（③どちらともいえない）を**中間的回答**、（④あまりそう思わない、⑤思わない）を**消極的回答**に分類し、まとめました。

また、**積極的回答**の上位・下位5項目を次のとおり抽出しました。



<積極的回答の割合が高い上位5項目>

1. 政策3-2

ごみの分別や資源のリサイクルなど、ごみを減らす取組を行っている市民の割合 (85.4%)

2. 政策2-2

「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童の割合 (82.4%)

3. 政策1-2

安全・安心な日常生活を送っていると思う市民の割合 (71.3%)

4. 政策4-6

居住する地域の住環境（住みやすさ）に満足している市民の割合 (70.7%)

5. 政策4-5

市内の広域拠点駅（川崎駅、武蔵小杉駅、新百合ヶ丘駅）の周辺に魅力や活気があると思う市民の割合 (70.0%)

<積極的回答の割合が低い下位5項目>

1. 政策5-2

市民の人権や平和に対する意識が高いと思う市民の割合 (21.9%)

2. 政策1-5

社会保障制度に基づく市の取組が、病気、怪我、失業などによる市民の経済的な不安の軽減に役立っていると思う市民の割合 (23.2%)

3. 政策5-1

市政に対する市民の意見や要望を伝える機会や手段が整えられていると思う市民の割合 (23.4%)

4. 政策5-1

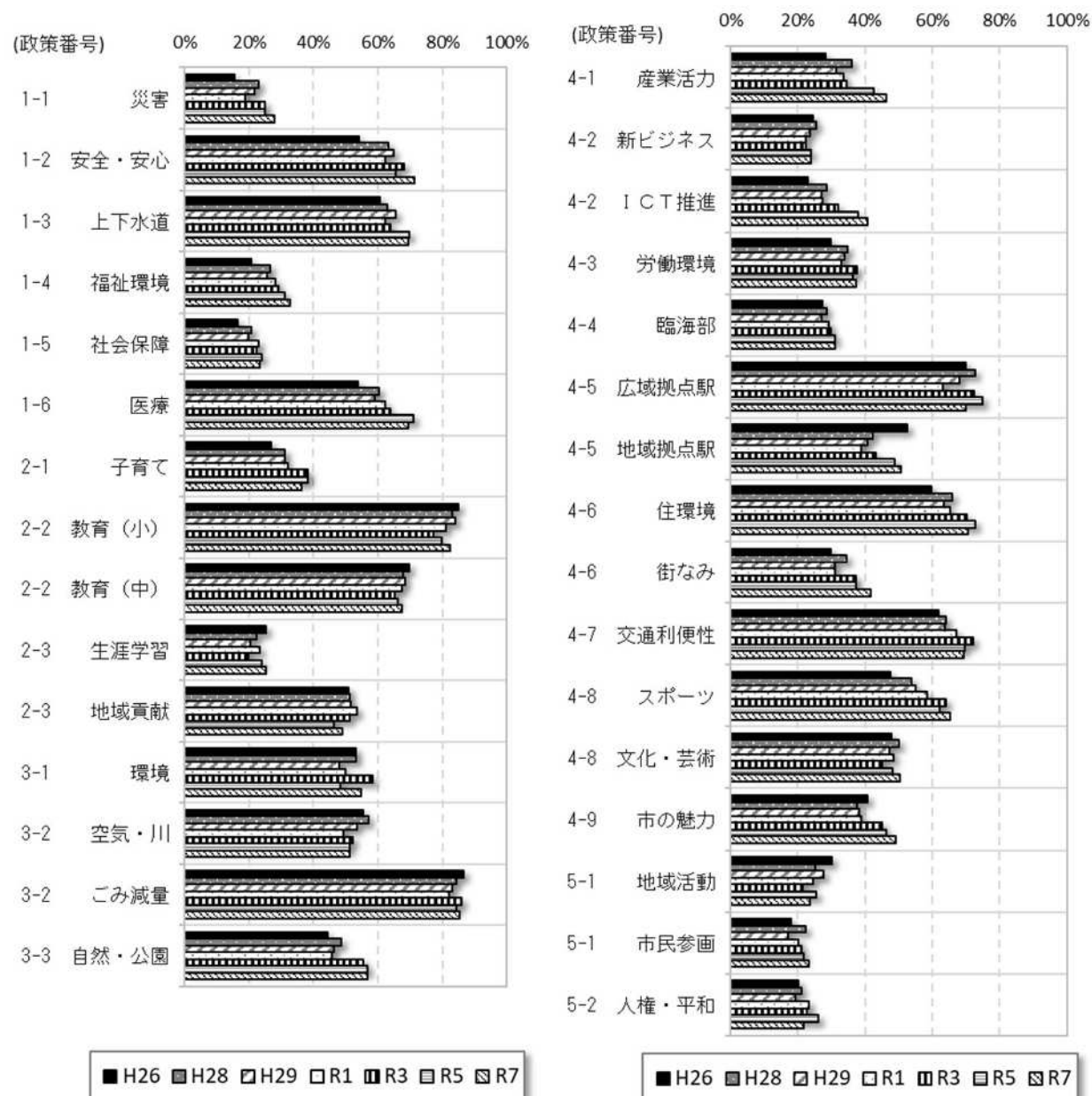
町内会や市民活動など、地域活動に参加している市民の割合（有無） (23.5%)

5. 政策4-2

新しいビジネスの生まれているまちだと思う市民の割合 (23.8%)

5 計画策定時との比較による傾向

今回の調査結果を総合計画策定時（平成26年度）の結果と比較すると、標本誤差の影響を考慮してもなお「積極的回答」に増加又は減少の傾向が見られた項目は次のとおりとなりました。



<「積極的回答」に増加傾向が見られた項目(13項目)>

- ・政策1-1「災害」(27.9%)【+12.3pt】
- ・政策1-2「安全・安心」(71.3%)【+17.2pt】
- ・政策1-3「上下水道」(69.3%)【+8.7pt】
- ・政策1-4「福祉環境」(32.7%)【+12.0pt】
- ・政策1-5「社会保障」(23.2%)【+6.6pt】
- ・政策1-6「医療」(69.4%)【+15.6pt】
- ・政策2-1「子育て」(36.2%)【+9.3pt】
- ・政策3-3「自然・公園」(56.7%)【+12.3pt】
- ・政策4-1「産業活力」(46.2%)【+17.9pt】
- ・政策4-2「ICT推進」(40.8%)【+17.9pt】
- ・政策4-6「住環境」(70.7%)【+11.1pt】
- ・政策4-6「街なみ」(41.7%)【+11.9pt】
- ・政策4-8「スポーツ」(65.3%)【+17.7pt】

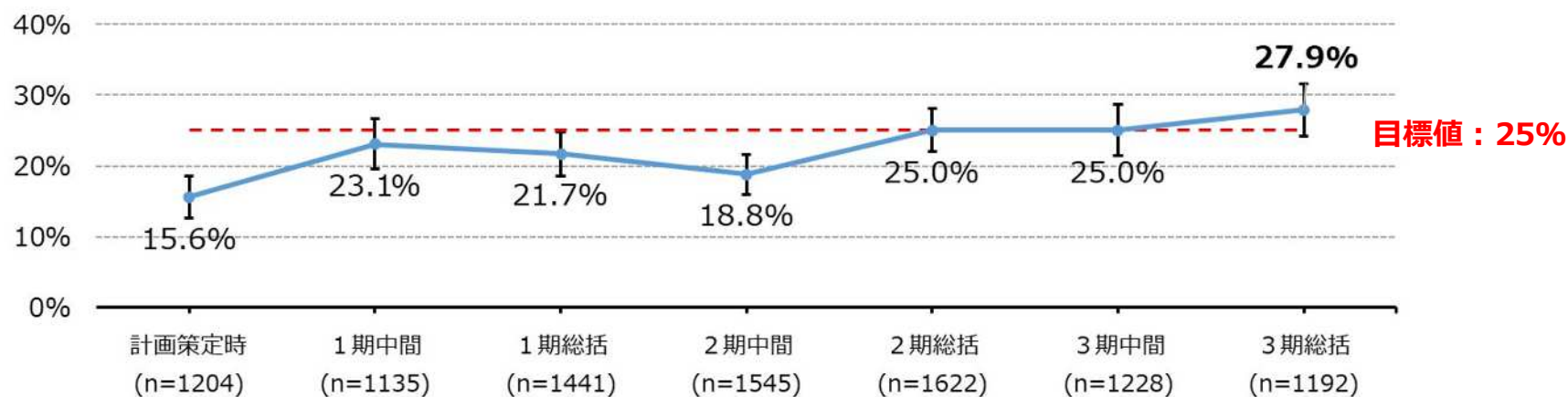
<「積極的回答」に減少傾向が見られた項目(2項目)>

- ・政策2-2「教育(小)」(82.4%)【▲2.7pt】
- ・政策2-2「教育(中)」(67.4%)【▲2.3pt】

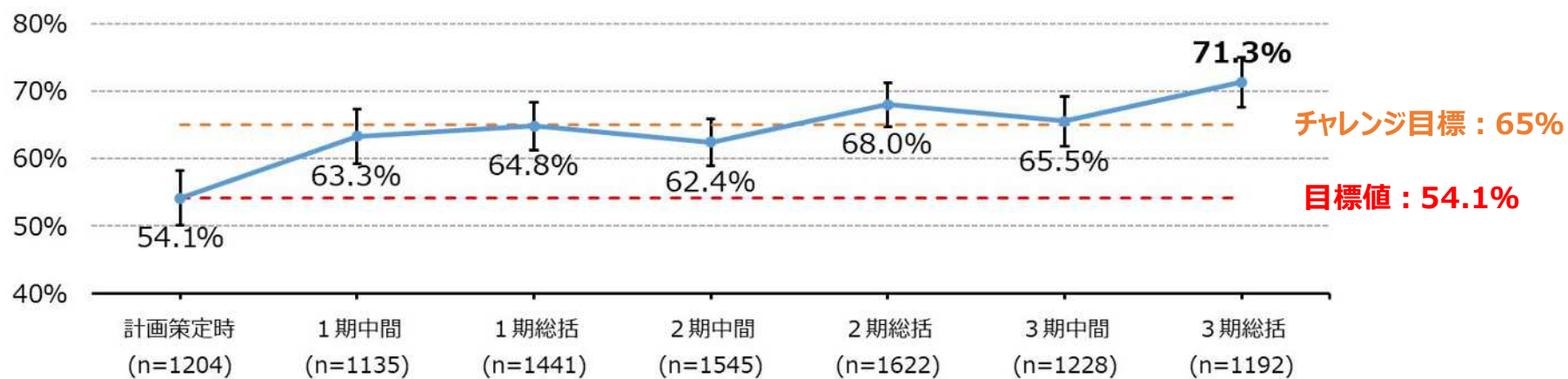
6 目標達成状況

政策 番号	実感指標	目標達成状況			実績値推移						チャレンジ目標	
		目標値	実績値	達成状況	H26	H28	H29	R1	R3	R5	目標値	達成状況
1-1	災害	25.0%	27.9%	達成	15.6%	23.1%	21.7%	18.8%	25.0%	25.0%	-	-
1-2	安全・安心	54.1%	71.3%	達成	54.1%	63.3%	64.8%	62.4%	68.0%	65.5%	65.0%	達成
1-3	上下水道	65.0%	69.3%	達成	60.6%	63.0%	65.6%	62.3%	64.0%	69.8%	-	-
1-4	福祉環境	25.0%	32.7%	達成	20.7%	26.6%	25.6%	28.2%	29.1%	31.1%	30.0%	達成
1-5	社会保障	20.0%	23.2%	達成	16.6%	20.7%	19.7%	22.9%	22.3%	24.1%	25.0%	未達成
1-6	医療	60.0%	69.4%	達成	53.8%	60.4%	59.0%	62.4%	64.0%	71.1%	65.0%	達成
2-1	子育て	35.0%	36.2%	達成	26.9%	31.2%	31.0%	32.2%	38.3%	38.2%	-	-
2-2	教育（小）	90.0%	82.4%	未達成	85.1%	83.1%	83.9%	81.2%	77.3%	79.9%	-	-
2-2	教育（中）	75.0%	67.4%	未達成	69.7%	67.8%	68.4%	67.6%	65.2%	66.1%	-	-
2-3	生涯学習	30.0%	25.3%	未達成	25.2%	22.3%	20.4%	23.3%	19.9%	23.9%	-	-
2-3	地域貢献	55.0%	48.9%	未達成	50.8%	51.2%	51.5%	53.6%	51.2%	46.3%	-	-
3-1	環境	55.0%	54.7%	未達成	53.2%	53.3%	48.1%	49.9%	58.5%	48.2%	-	-
3-2	空気・川	60.0%	51.1%	未達成	55.6%	57.1%	53.5%	49.3%	52.3%	51.4%	-	-
3-2	ごみ減量	90.0%	85.4%	未達成	86.6%	84.2%	83.1%	82.2%	86.0%	84.4%	-	-
3-3	自然・公園	50.0%	56.7%	達成	44.4%	48.7%	46.5%	45.7%	55.4%	56.7%	-	-
4-1	産業活力	35.0%	46.2%	達成	28.3%	36.2%	31.3%	33.6%	34.5%	42.5%	-	-
4-2	新ビジネス	30.0%	23.8%	未達成	24.4%	25.6%	23.6%	22.5%	22.3%	23.9%	-	-
4-2	ICT推進	35.0%	40.8%	達成	22.9%	28.7%	27.1%	27.5%	31.9%	37.8%	-	-
4-3	労働環境	35.0%	37.3%	達成	29.7%	34.8%	33.8%	33.0%	37.5%	36.5%	-	-
4-4	臨海部	35.0%	31.2%	未達成	27.4%	28.7%	27.1%	29.3%	29.7%	31.1%	-	-
4-5	広域拠点駅	70.0%	70.0%	達成	70.0%	72.8%	68.2%	63.2%	72.4%	75.0%	-	-
4-5	地域拠点駅	52.6%	50.8%	未達成	52.6%	42.2%	40.8%	39.0%	43.2%	48.8%	-	-
4-6	住環境	65.0%	70.7%	達成	59.6%	66.0%	63.4%	65.2%	70.4%	72.9%	70.0%	達成
4-6	街なみ	40.0%	41.7%	達成	29.8%	34.6%	31.2%	31.1%	37.4%	37.4%	-	-
4-7	交通利便性	70.0%	69.4%	未達成	62.0%	64.2%	63.9%	67.2%	72.1%	69.6%	-	-
4-8	スポーツ	55.0%	65.3%	達成	47.6%	53.9%	55.1%	58.6%	64.1%	62.3%	60.0%	達成
4-8	文化・芸術	55.0%	50.5%	未達成	48.0%	50.2%	47.4%	48.5%	45.2%	48.2%	-	-
4-9	市の魅力	50.0%	49.2%	未達成	40.7%	37.5%	38.3%	39.0%	45.0%	46.4%	-	-
5-1	地域活動	40.0%	23.5%	未達成	30.3%	25.3%	27.6%	24.7%	21.5%	25.4%	-	-
5-1	市民参画	25.0%	23.4%	未達成	18.1%	22.5%	17.2%	20.1%	21.1%	21.9%	-	-
5-2	人権・平和	30.0%	21.9%	未達成	20.1%	21.0%	19.4%	23.3%	22.7%	26.1%	-	-

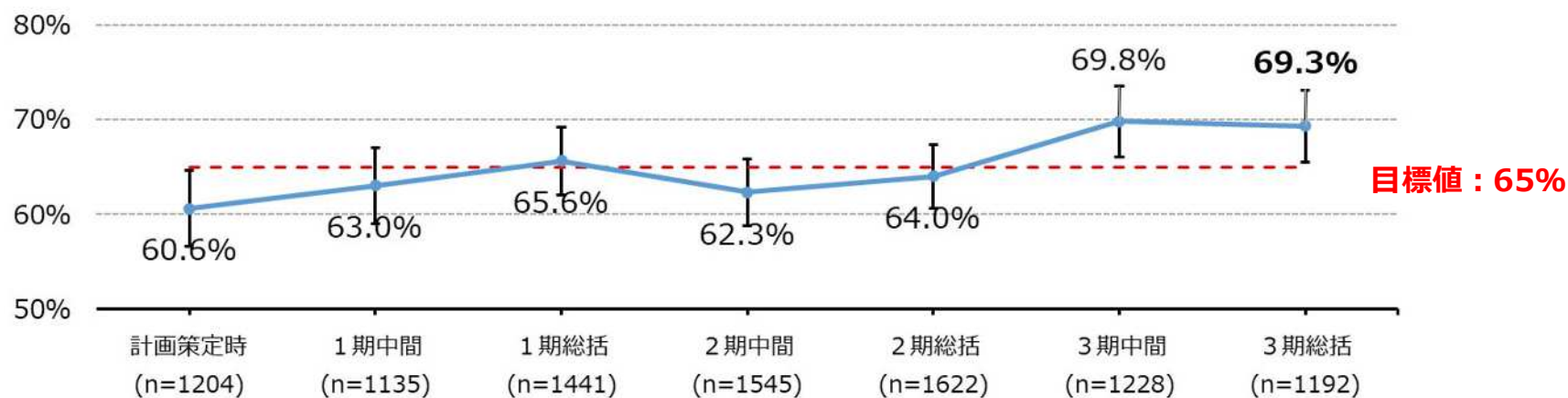
(政策 1 - 1) 災害に強いまちづくりが進んでいると思う市民の割合



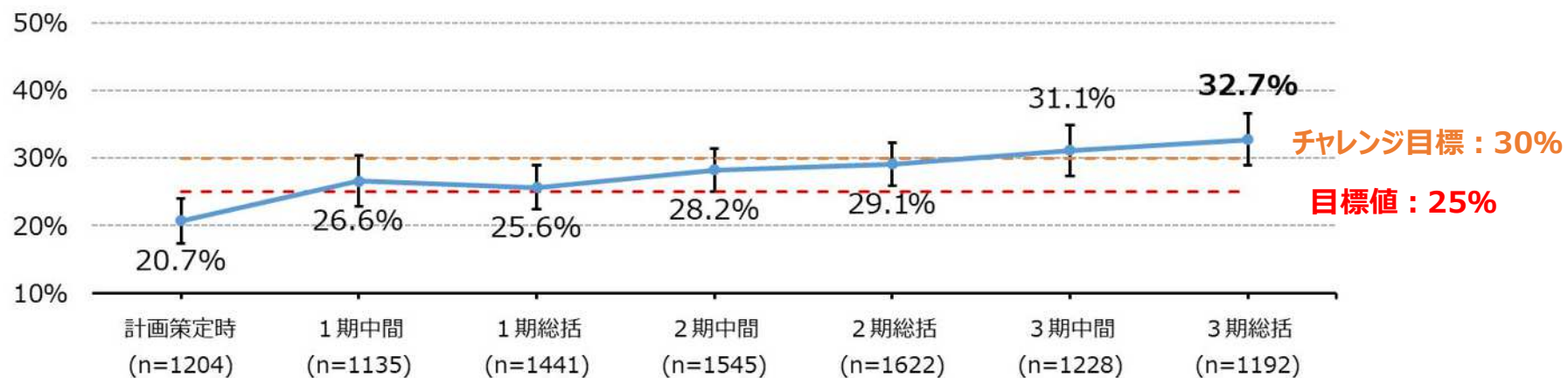
(政策 1 - 2) 安全・安心な日常生活を送っていると思う市民の割合



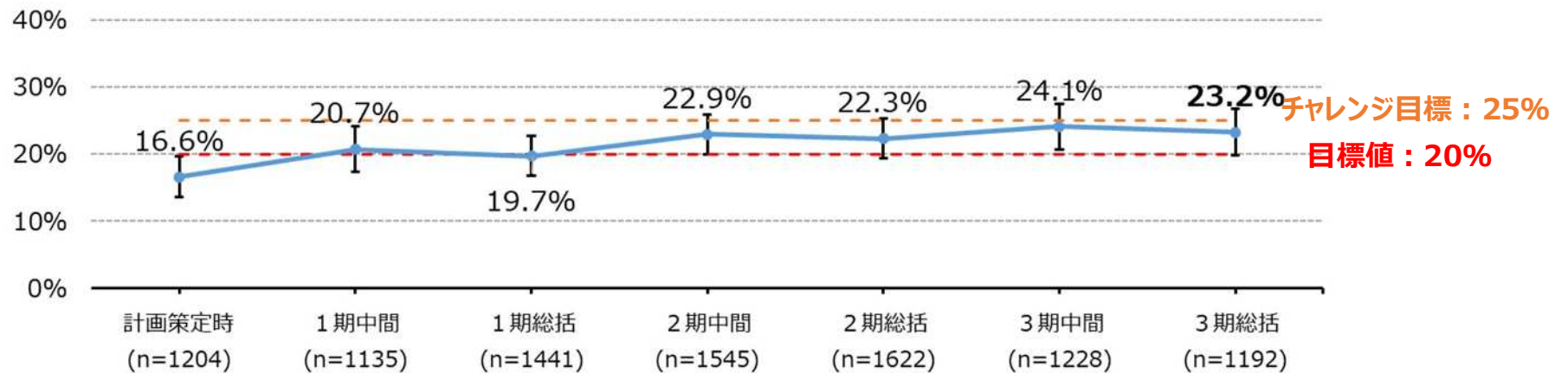
(政策 1 - 3) 上下水道サービスについて満足している市民の割合



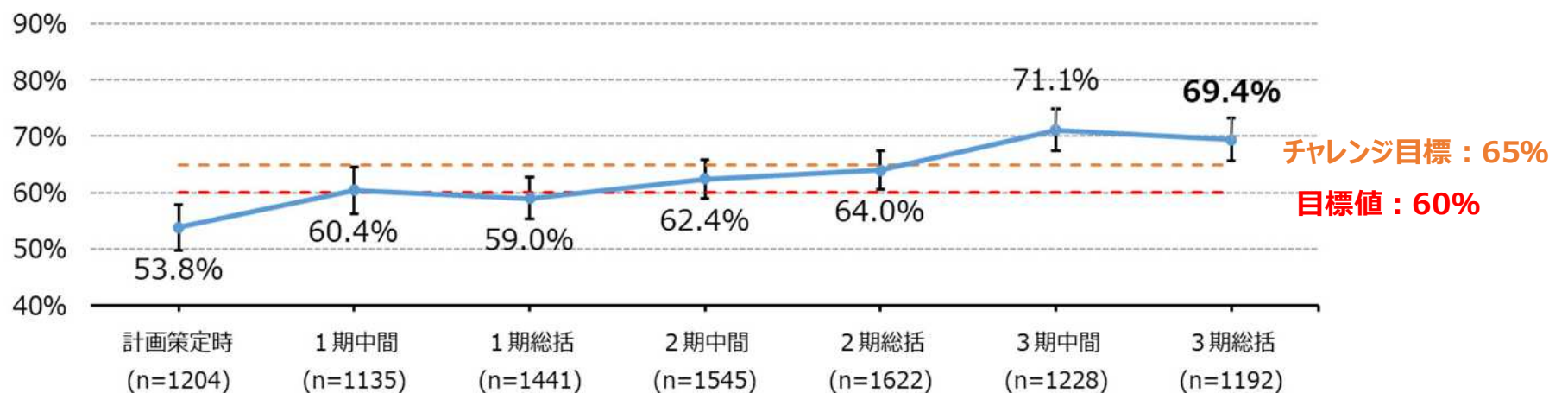
(政策 1 - 4) 高齢者や障害者が生き生きと生活できるような環境が整っていると思う市民の割合



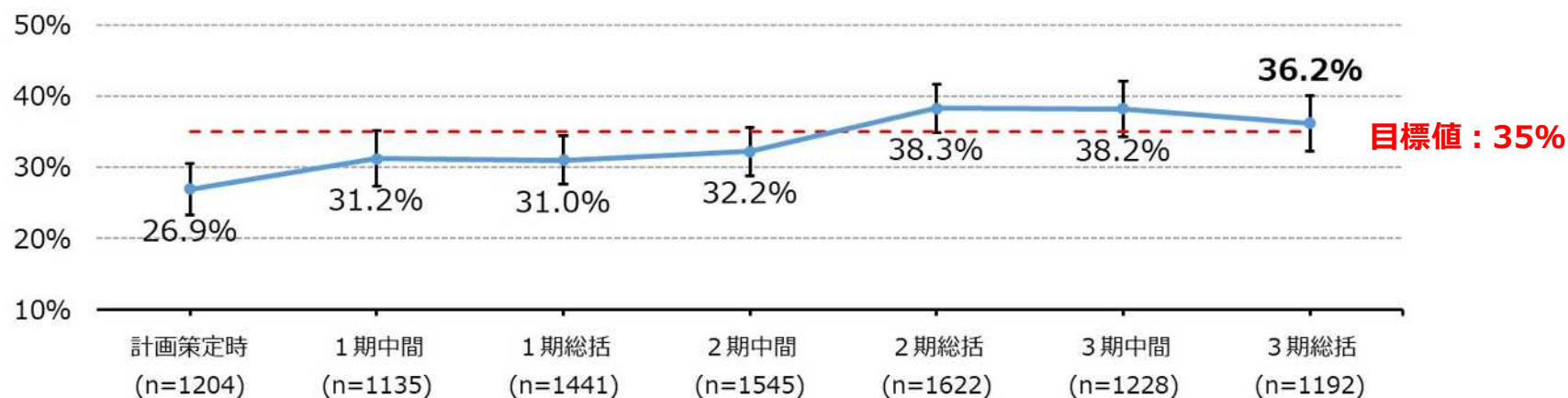
（政策１－５）社会保障制度に基づく市の取組が、病気、怪我、失業などによる市民の経済的な不安の軽減に役立っていると思う市民の割合



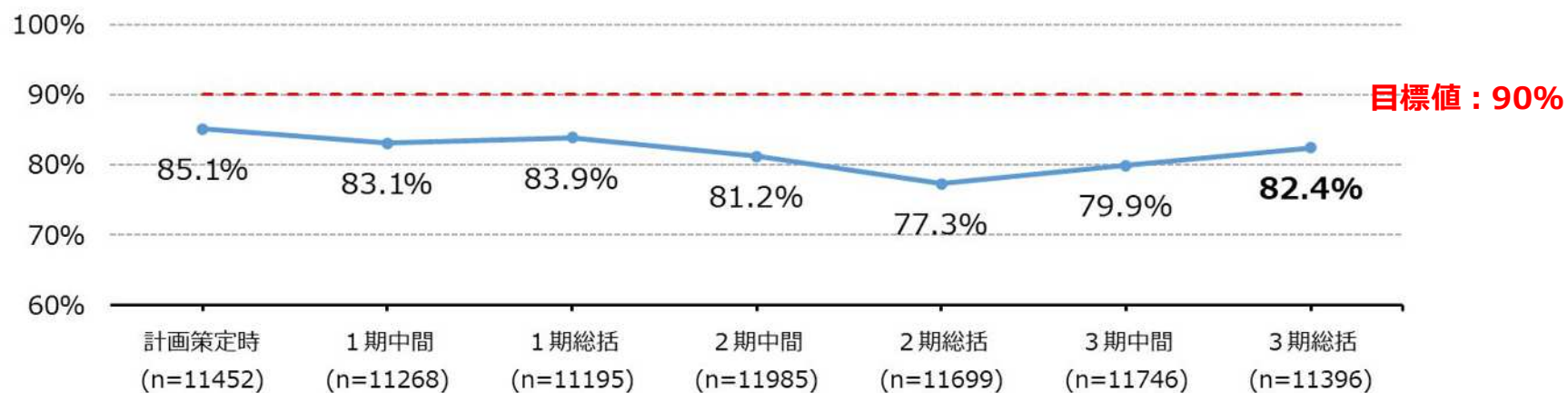
（政策１－６）安心して医療を受けることができていると感じている市民の割合



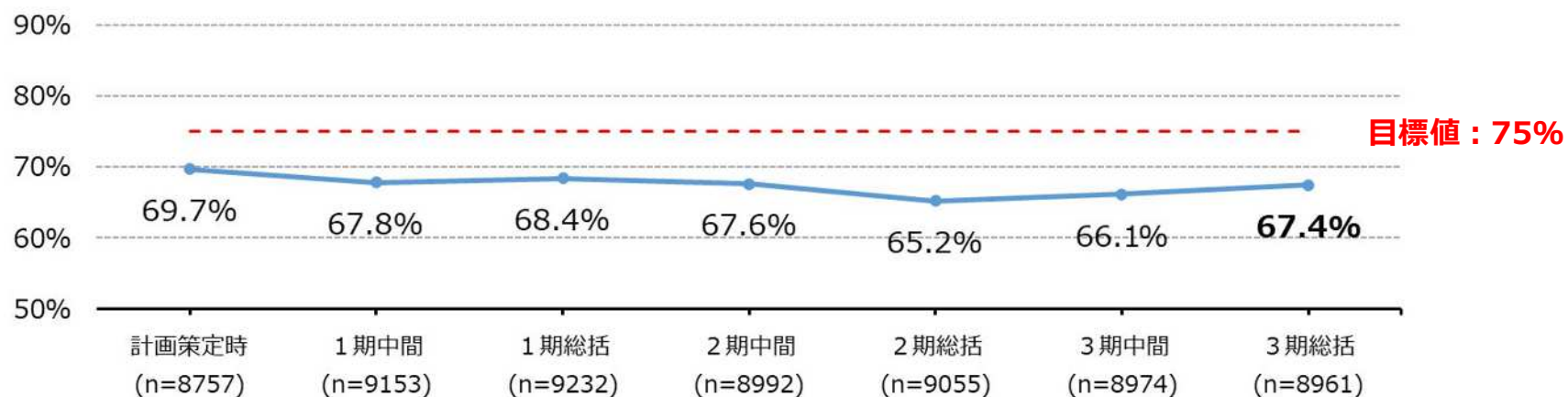
（政策２－１）子育て環境の整ったまちだと思ふ市民の割合



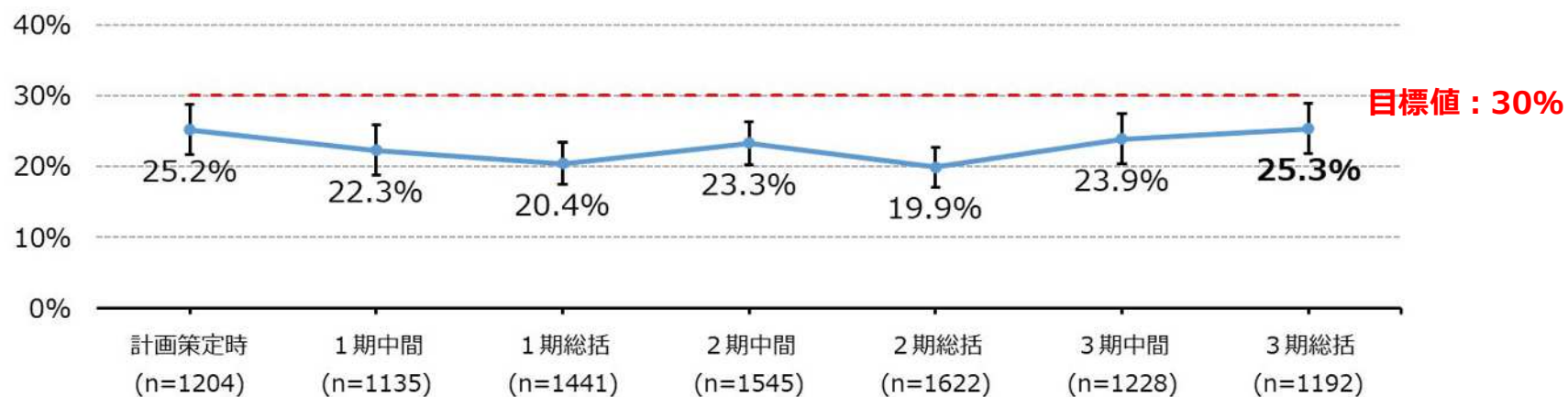
（政策２－２）「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した児童の割合



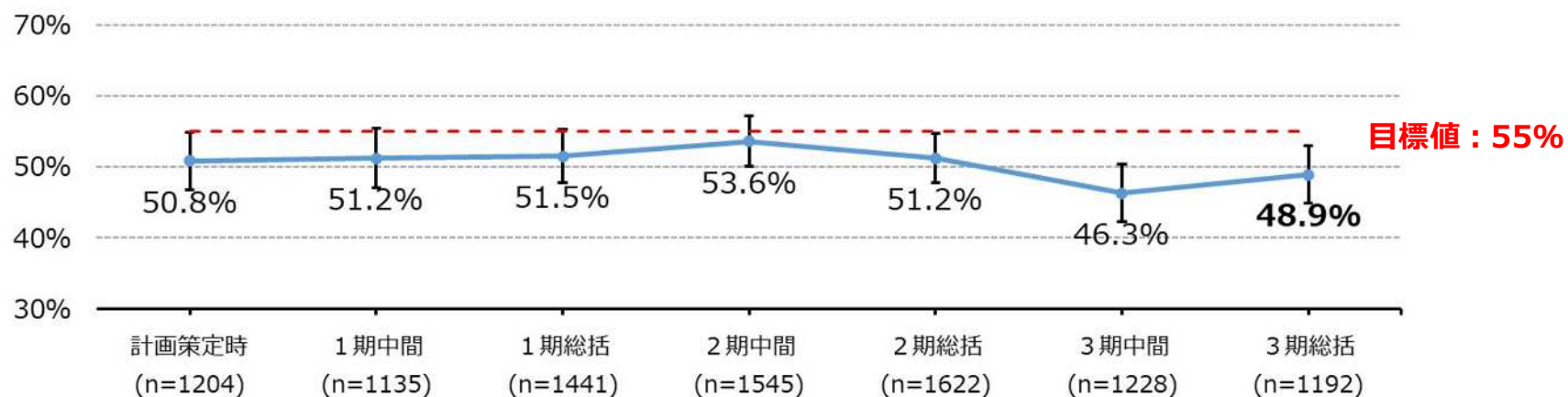
(政策2-2)「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」と回答した生徒の割合



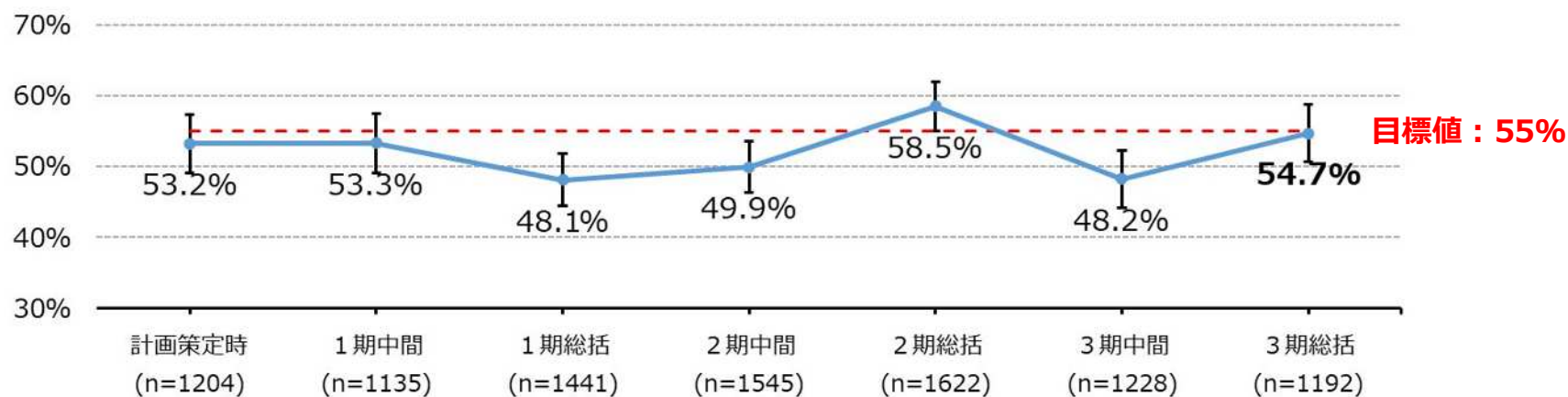
(政策2-3)「1 年間に生涯学習をしたことがある」と回答した市民の割合



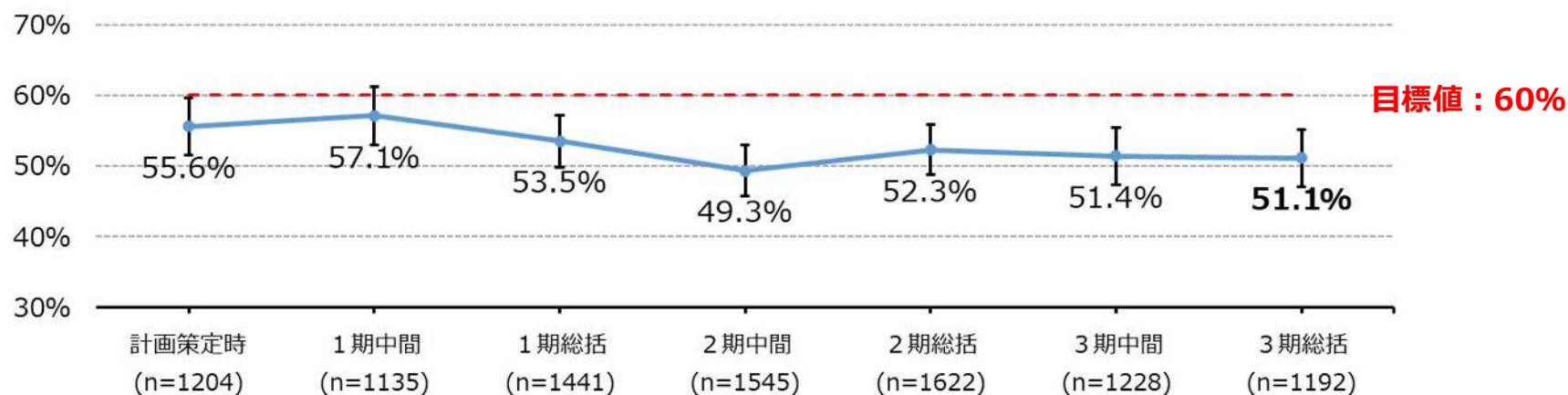
(政策2-3)「自分の知識や技術を地域や社会に活かしたいと思う」と回答した市民の割合



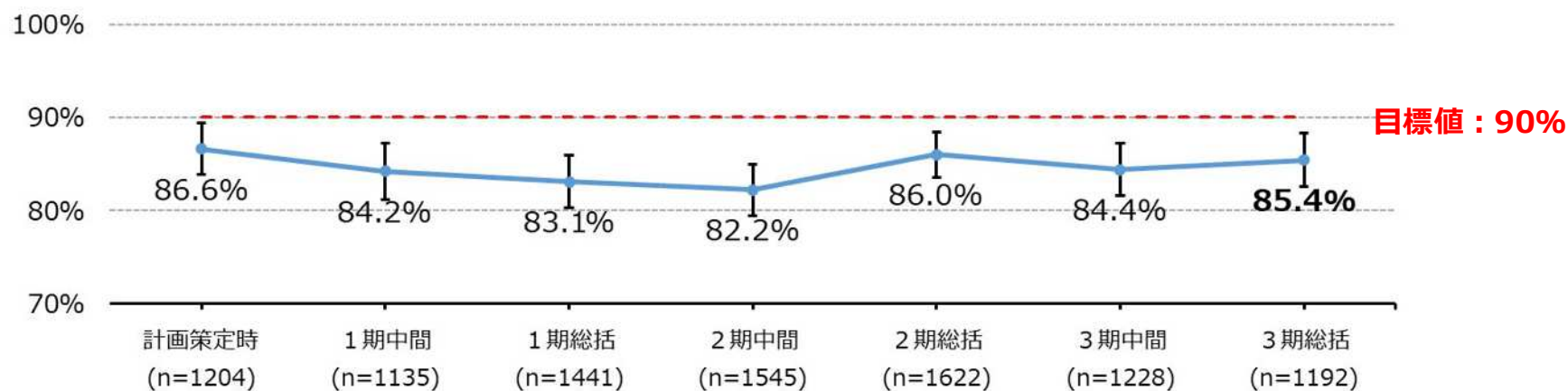
(政策3-1) 地球温暖化の防止など、環境に配慮した生活を送っている市民の割合



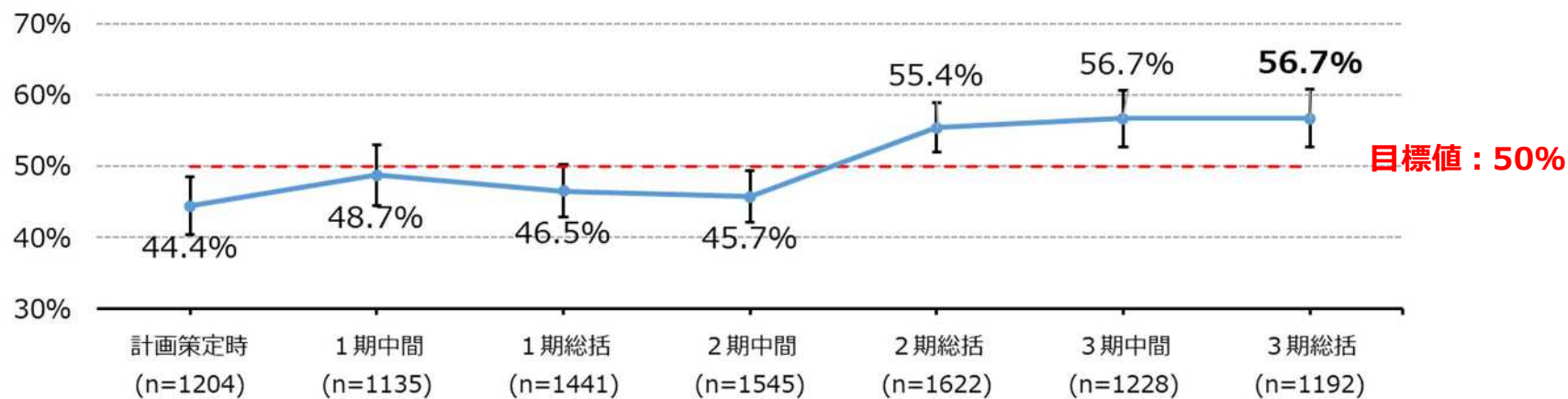
(政策3-2) 市内の空気や川などの水がきれいになったと思う市民の割合



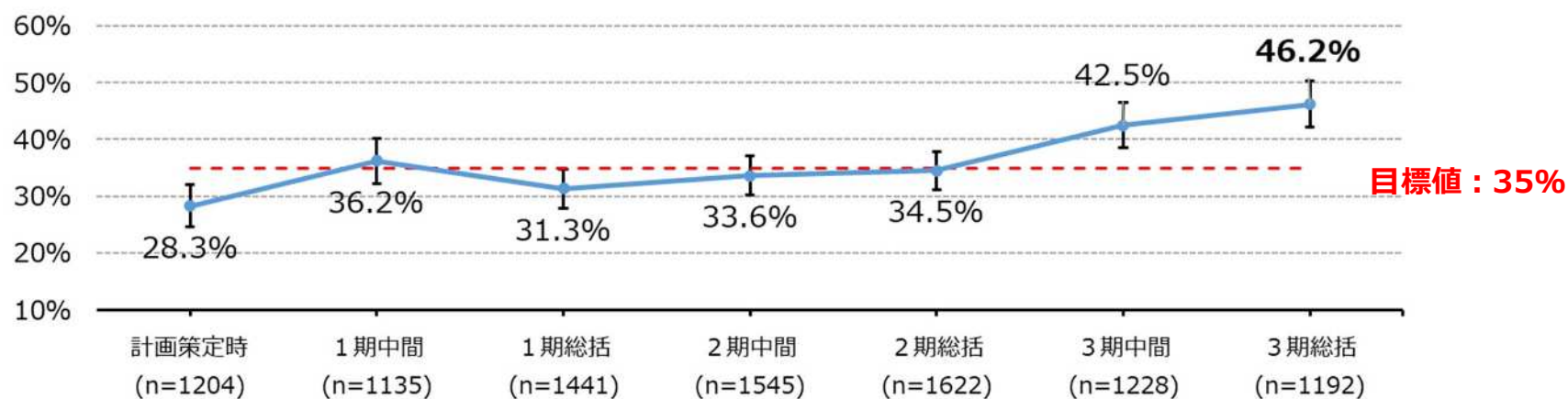
(政策3-2) ごみの分別や資源のリサイクルなど、ごみを減らす取組を行っている市民の割合



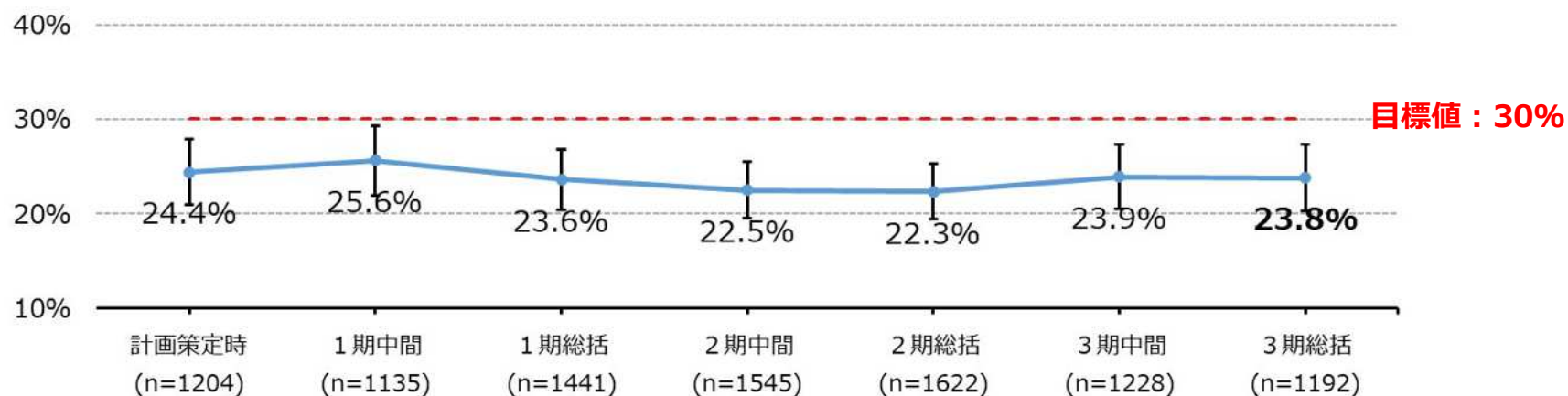
(政策3-3) 市内にある自然（緑地、河川など）や公園に満足している市民の割合



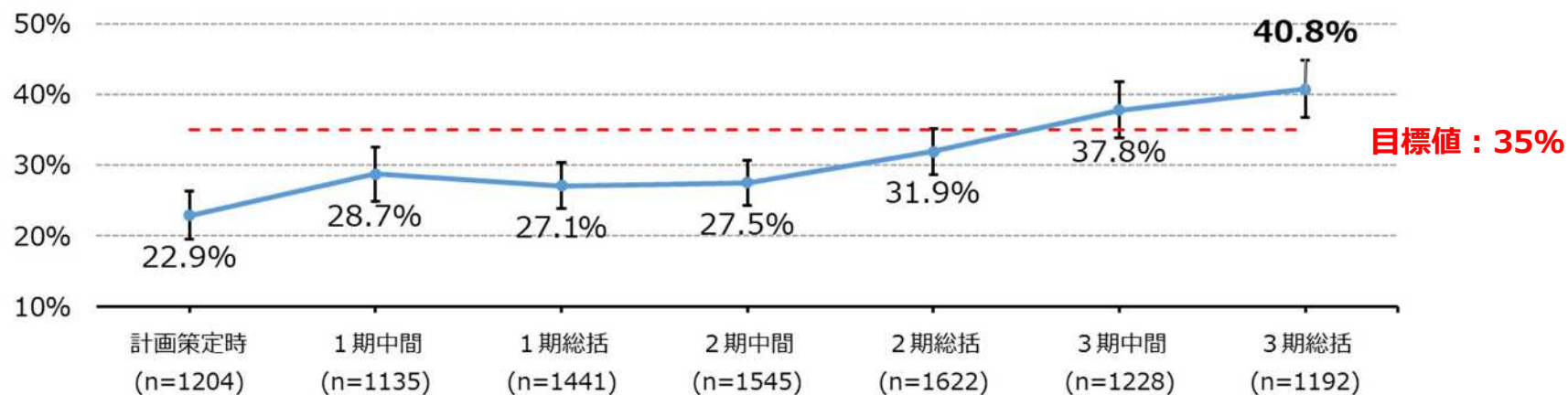
(政策4-1) 市内産業に活力があり、事業者が元気なまちだと思う市民の割合



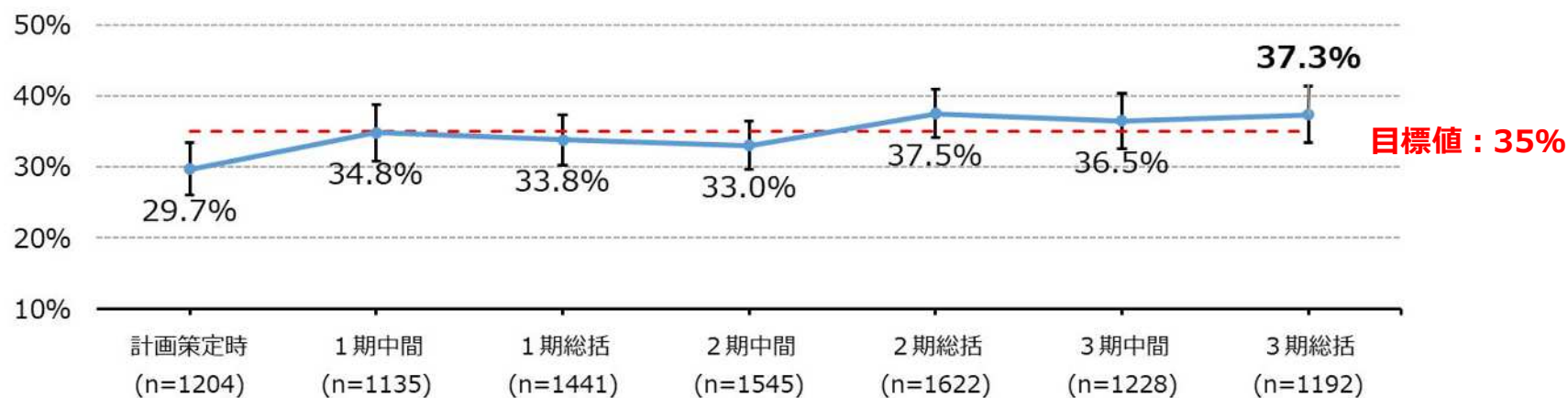
（政策4－2）新しいビジネスの生まれているまちだと思える市民の割合



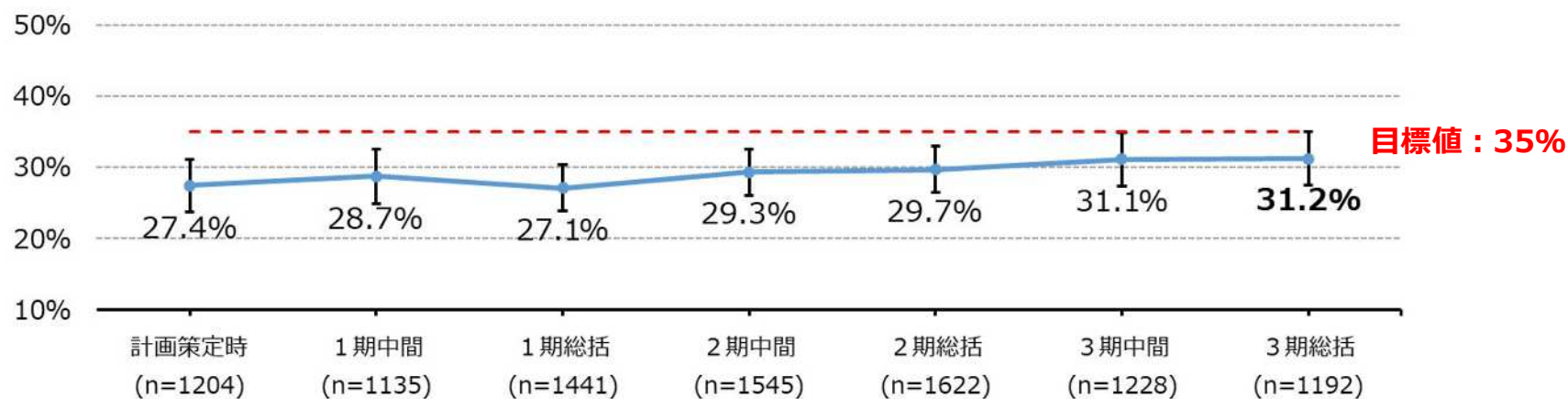
（政策4－2）行政サービスでインターネットやスマートフォンなどの I C T の活用が進んでいると思う市民の割合



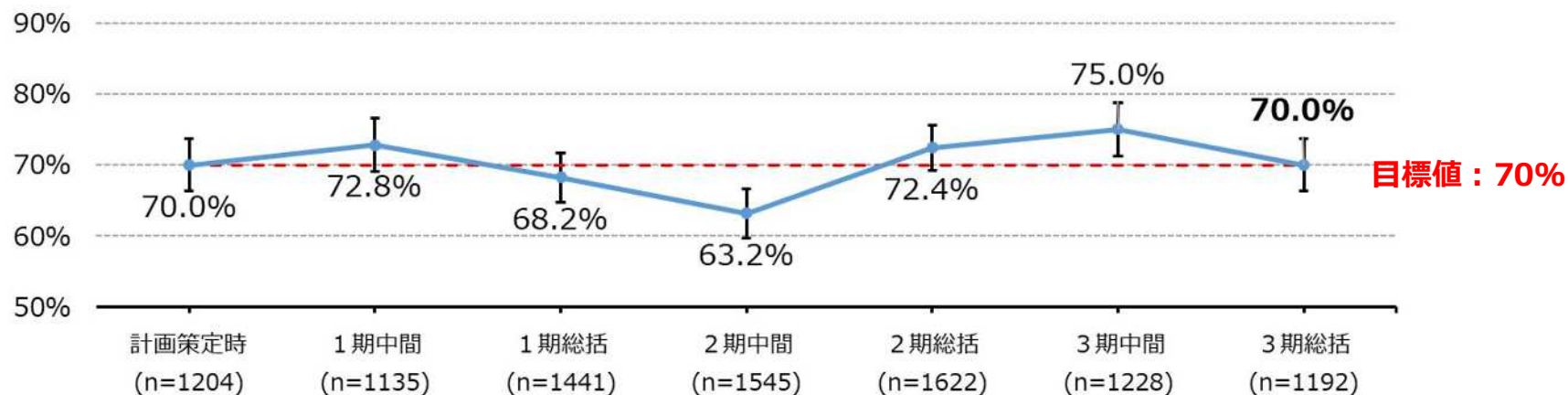
(政策4-3) 働きやすいまちだと思える市民の割合



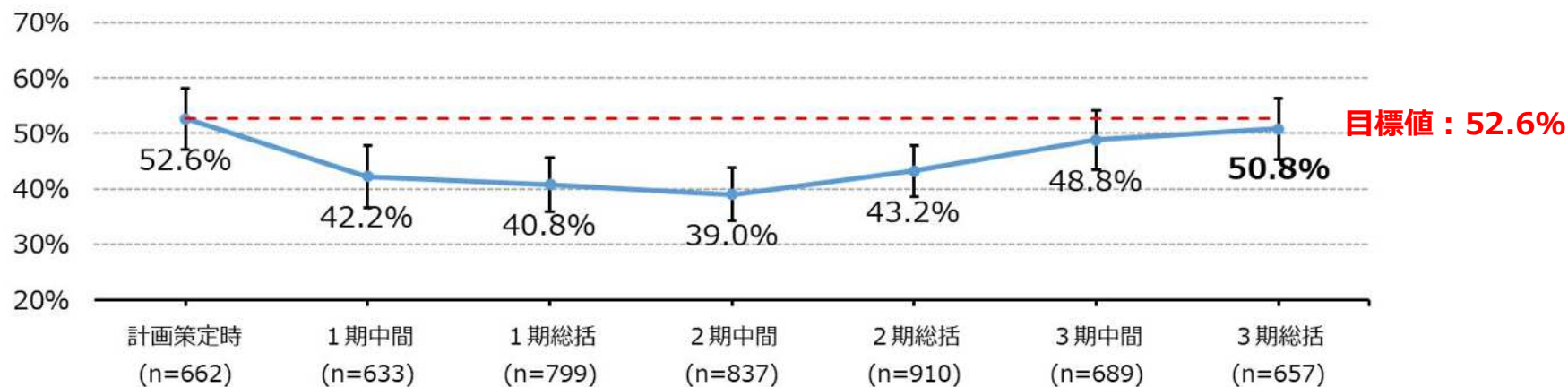
(政策4-4) 臨海部で経済活動が盛んであると思える市民の割合



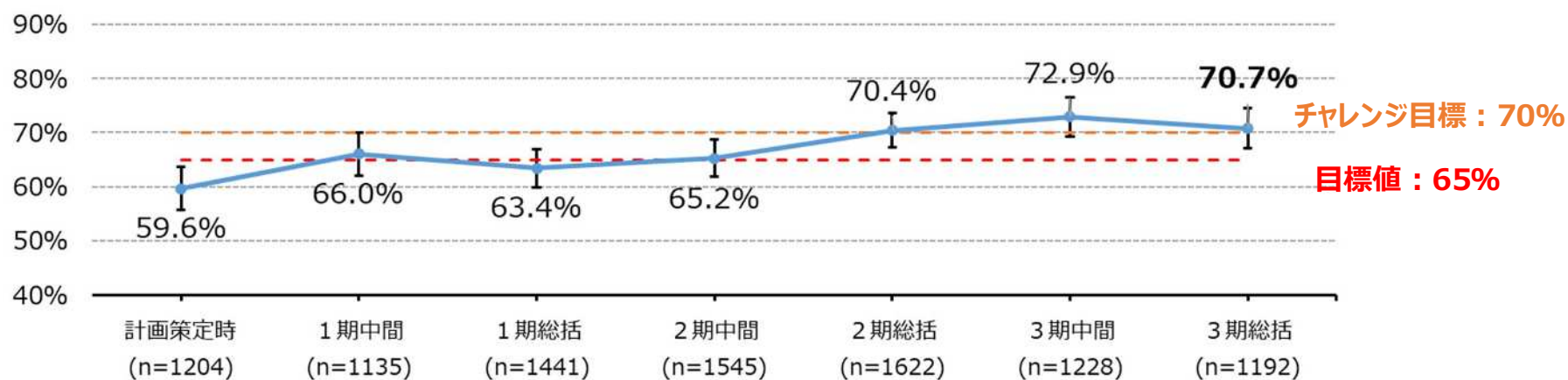
（政策4－5）市内の広域拠点駅（川崎駅、武蔵小杉駅、新百合ヶ丘駅）の周辺に魅力や活気があると思う市民の割合



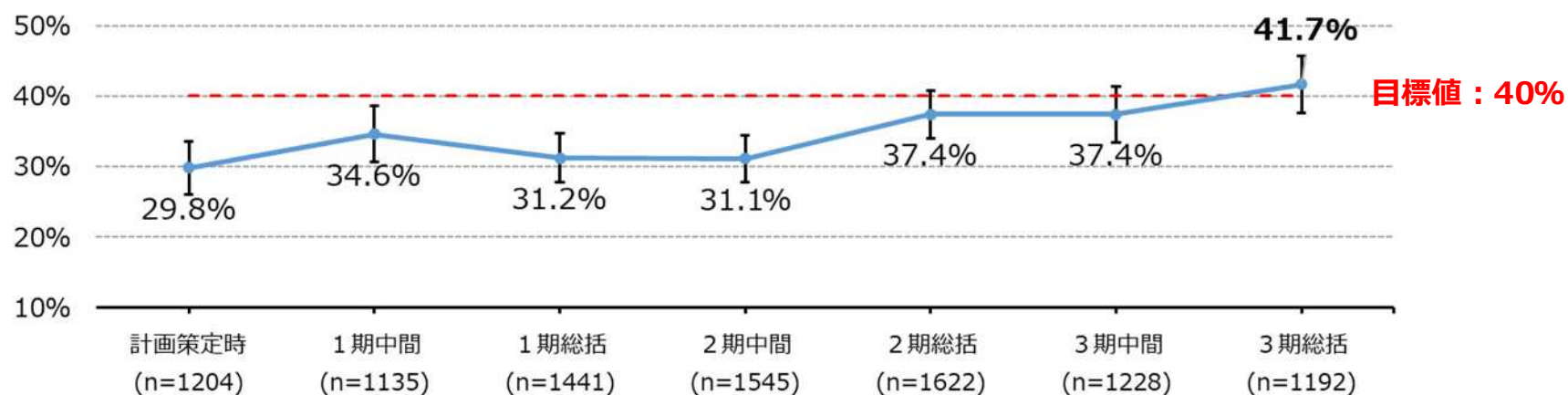
（政策4－5）市内の地域生活拠点駅（新川崎・鹿島田駅、武蔵溝ノ口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅）の周辺に魅力や活気があると思う市民の割合



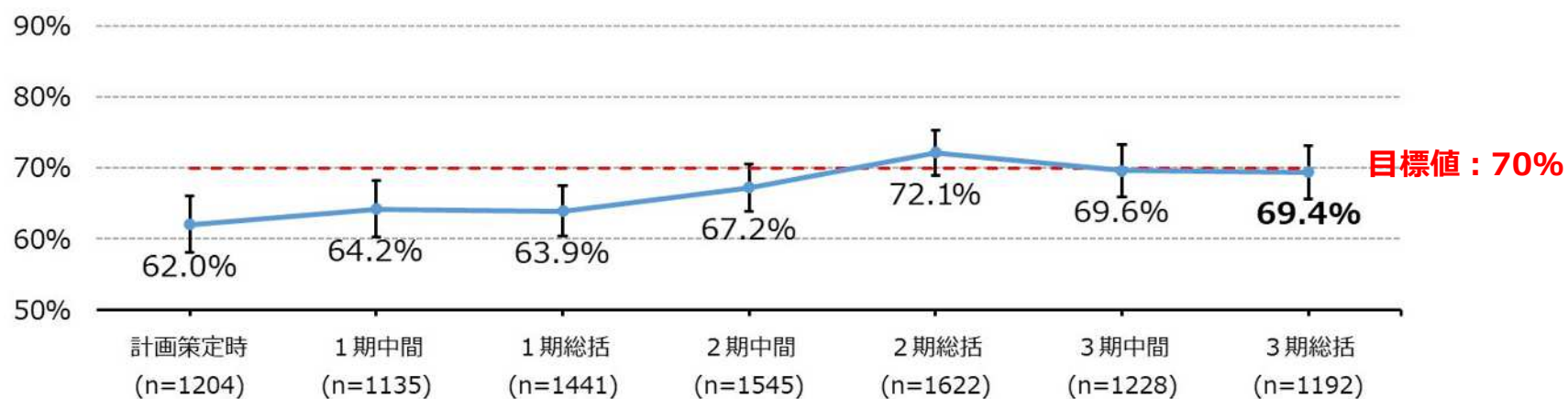
(政策4-6) 居住する地域の住環境（住みやすさ）に満足している市民の割合



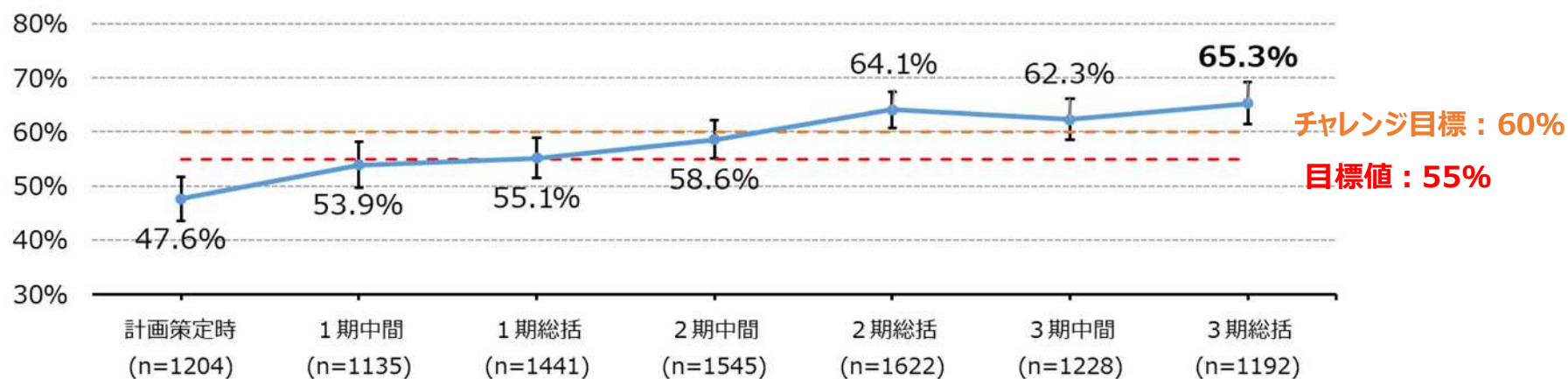
(政策4-6) 市内に美しい街なみが保たれていると思う市民の割合



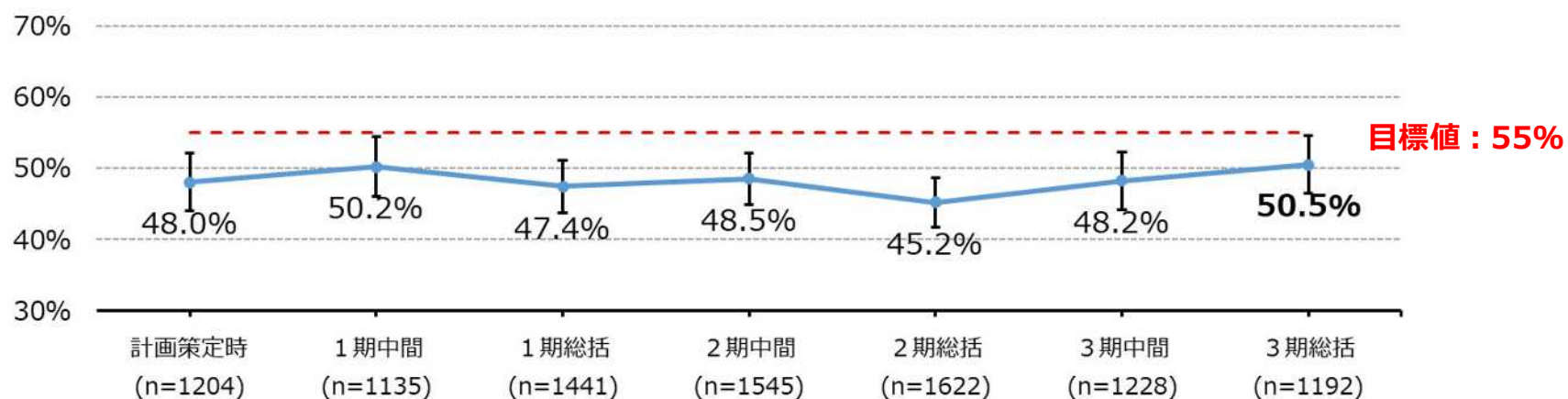
(政策4-7) 交通利便性の高いまちだと思える市民の割合



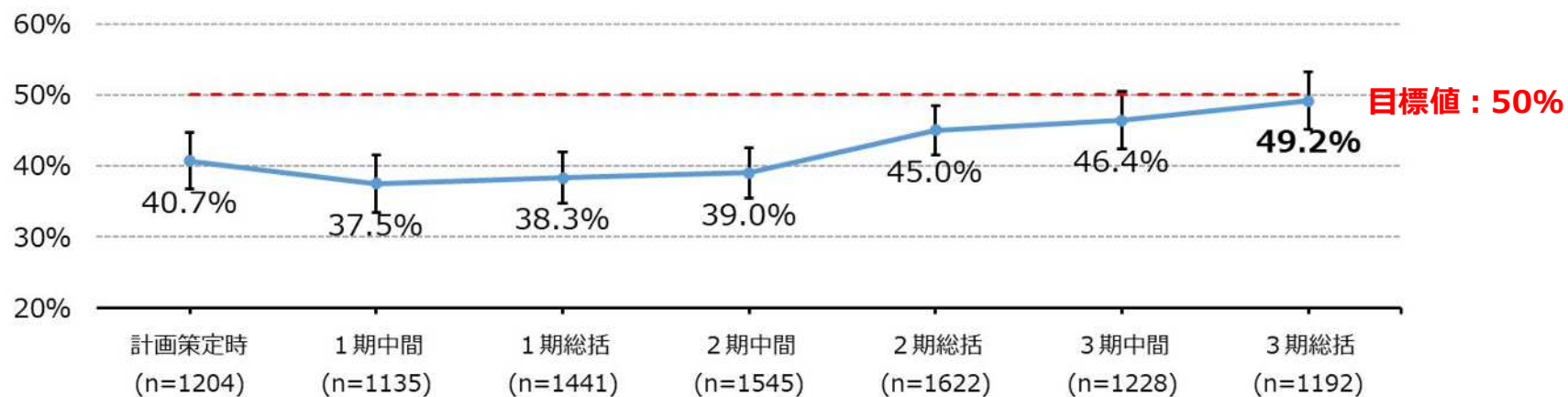
(政策4-8) スポーツの盛んなまちだと思える市民の割合



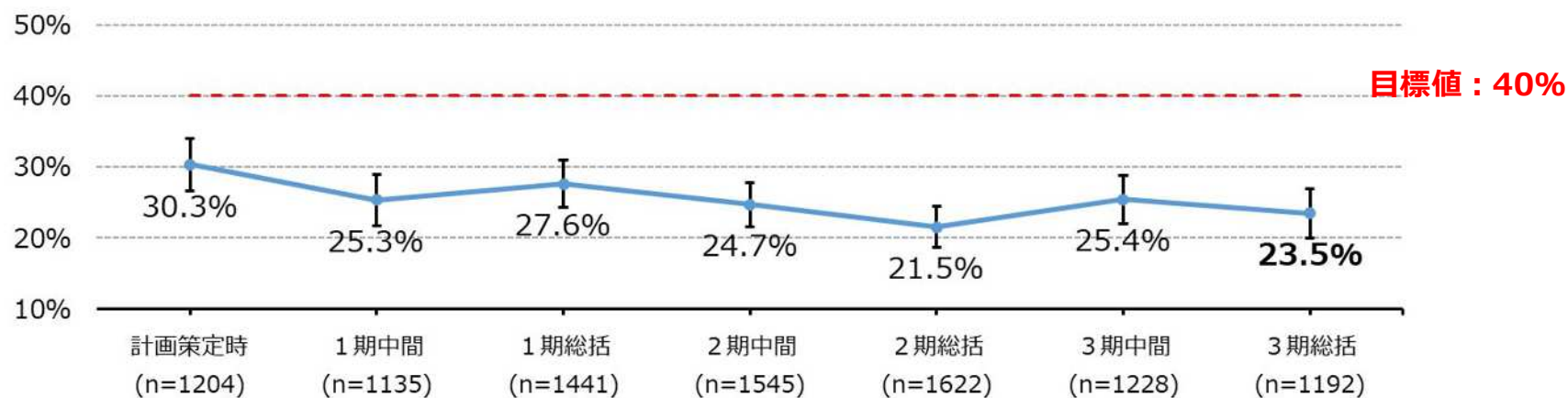
(政策4-8) 文化・芸術活動の盛んなまちだと思ふ市民の割合



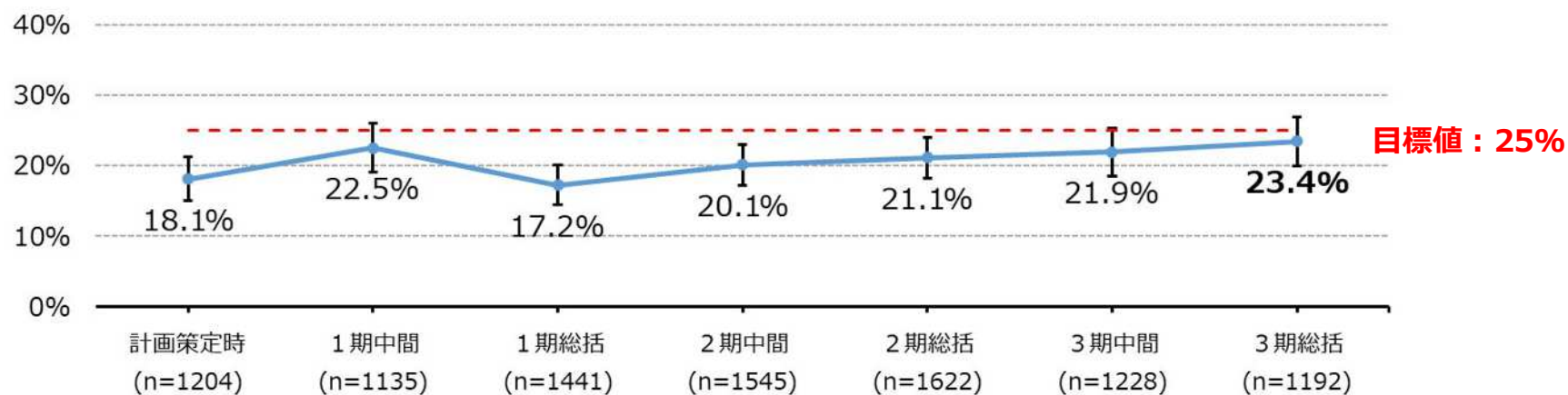
(政策4-9) 市に魅力や良いイメージがあると感じている人の割合



(政策5－1) 町内会や市民活動など、地域での活動に参加している市民の割合



(政策5－1) 市政に対する市民の意見や要望を伝える機会や手段が整えられていると思う市民の割合



(政策5－2) 市民一人ひとりの人権や平和に対する意識が高いと思う市民の割合

